

医療支援室だより

第15号
2023 秋

T O P I C S

- 病院長よりご挨拶
- 病院機能評価の認定について
…部門紹介… 放射線科
- 看護科より
- リハビリテーション科より
- 栄養室より
- 医療支援室より
- 外来担当医表 / 当院へのアクセス

病院長よりご挨拶



病院長
高蓋 寿朗

いつもお世話になっております。病院長の高蓋です。

2023年9月8日、広島県が「高度医療・人材育成拠点基本計画」を公表し、2030年に広島駅北口に開院予定の新病院の構想を明らかとしました。この中で、舟入市民病院の小児診療機能を新病院へ集約することが方向性として示されました。当院の小児診療機能は小児救急を中心に、全国的にも誇れる医療を提供しておりますが、その機能を高度医療機能を確保する新病院に移管することによって、さらに発展させることができると考えております。

一方で、この計画が実践されることによって、当院に求められる医療の内容も大きく変化するものと予想されます。この変化に対応するために、将来の当院のあり方の検討をすでに開始しており、一部は実行に移しております。

1. これまでの呼吸器・血液・消化器を中心とする内科診療、良性外科疾患を中心とする外科診療は今後も維持、発展させていきます。
2. 広島市民病院をはじめとする高度急性期病院からの亜急性期（回復期）の患者さんを積極的に引き受けし、自宅療養等への橋渡しを行います。
3. 人口高齢化によって、今後ますます重要となってくる地域包括ケアシステムを支えることができる機能（自宅療養者の入院・外来での受け入れ・訪問診療の支援など）を模索していきます。
4. 急性期医療へも対応できる機能を維持し、これまで通り感染症医療の拠点病院として、いかなる新興感染症にも柔軟かつ迅速に対応できる病院であり続けます。

新病院開院までは、まだ7年間の時間はありますが、広島県・広島市・医師会等とも協議しながら、準備を進めていきます。将来も「舟入市民病院があってよかった」と市民のみなさまから言っていただける病院でありたいと思っています。今後よろしくお願いいたします。

病院機能評価の認定について



当院は、公益財団法人日本医療機能評価機構が行う病院機能評価を受審し、2023年6月2日付けで認定されました。

「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践」

「理念達成に向けた組織運営」の各分野で同機構の

定める認定基準に達成されていることが確認されました。

受審に当たっては約1年間、医師、看護師、医療技術、事務など多職種の職員が一丸となって、マニュアルや業務の改善などに取り組みました。

これからも基本理念にある「信頼される医療の提供」に取り組んでまいります。
今後ともよろしくお願いいたします。



事務長 伊藤 博雅

… 部門紹介 … 放射線科

2017年の部門紹介から6年が経ち、放射線科ではCT装置と骨密度装置を更新しました。



Canon社の80列MSCT（Multi-Slice-CT）に更新し、最新のCT装置として低被ばく・短時間撮影を年間2,618件行いました。

MRIと比較すると検査にかかる時間が格段に短く、患者さんの負担は少なくなります。また、初めてお越しの患者さんにも安心していただけるよう、優しい白を基調にしたお部屋となっております。

2019年
CT装置を更新



2021年
骨密度装置
を更新



GE社の骨密度装置に更新しDEXA法（現在では最も信頼のおける測定法です）で検査をしています。クッション性の高いベッドに寝た状態で撮影をしますので、幅広い患者さんに対応し、高い再現性を得られると考えています。

当科の
MRI



SIEMENS社の1.5T装置を使用しています。年間件数845件、そのうち地域連携枠としては378件を行いました。

MRI検査は磁力を利用するため放射線被ばくが無く、頭部、腹部、脊椎等の精密検査を行えます。

当科の特徴等
について

当科では、30代から60代の診療放射線技師10人と事務員1人で日々勤めています。特徴としては経験年数の多い技師で構成されていますので、幅広い年齢層の患者さんに安心して検査をうけていただけていると思っております。また、読影所見については大阪にある多根総合病院へ遠隔で依頼しており、検査画像（CD-RやDVD）と共にご依頼施設へ郵送いたします。

※ 地域連携を活用した検査のみのご依頼もお待ちしております。ホームページに地域連携検査依頼手順を掲載しておりますが、お電話いただければ必要手順のお話もさせていただきますので是非お問い合わせください。

（当科では心臓検査は行っておりません。）



看護科より

2023年7月27日に

「ふれあい看護体験」を開催しました！



コロナ禍で中止を余儀なくされた年もありましたが、昨年に引き続き今年も「ふれあい看護体験」を開催することができました。看護に興味のある高校1年生から3年生10名の参加がありました。

学生たちは白衣に着替えたあと、総看護師長から当院の概要について説明を受け、名札を授与され看護体験を始めました。各病棟・手術室を回り、それぞれの特徴について説明を受け、いろいろな体験をしました。手術室では滅菌ガウンや滅菌手袋の装着、コロナ患者を受け入れている病棟ではN95マスクのフィッティング体験、小児科病棟では点滴の固定の見学等を行いました。また、学生同士で血圧を測りあったり聴診体験をするなど、和気あいあいとした雰囲気の中で体験を終えることができました。

滅菌ガウンを装着

お昼からは看護専門学校・看護大学のそれぞれの先生方をお招きし、就職説明会として学校の特徴や看護をめざす学生に日頃の心構えについても熱く語っていただきました。

学生からは「患者に寄り添っていて優しく、すてきな仕事だと思った。」「普段自分たちが目にすることがないようなところまで知ることができて勉強になった。」「より看護に興味がわいてきた。」等の意見がありました。

今年は患者さんとふれあうことはできませんでしたが、来年度は患者さんと直接ふれあい、より看護に親しみを感じることができると期待しています。

「ふれあい看護体験」に参加してくれた学生が一人でも多く、将来素敵な看護師になってくれることを期待しています。



滅菌手袋を装着



特殊浴槽を見学

ティルトテーブルを体験



リハビリテーション科より



今回は、脳血管疾患リハビリについてご紹介します。

当院では2020年から脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）の算定を開始しています。2022年度ではリハビリ処方のうち1割が脳血管疾患等の患者さんで、疾患別でみると、脳卒中・脊髄炎・脳炎等が多い状況です。

脳卒中の患者さんは、市内の回復期病院から胃瘻造設目的で入院されることが多いです。2週間程度の短期入院ですが、入院日よりリハビリを開始し、回復期から途切れなくリハビリが提供できるよう体制を整えています。当院の療法士は全員回復期での勤務経験がありますので、回復期と同様のリハビリが提供可能です。また治療用装具、ティルトテーブル等の機器も揃えています。胃瘻造設後も早期離床を心掛けており、術翌日から積極的に車椅子離床を行っています。



ティルトテーブル

脊髄炎・脳炎等の患者さんは小児で多く、基本動作（寝返り・起き上がり・座位・立ち上がり・立位・歩行）の改善を目指して介入しています。また患者さんやご家族の精神面もフォローしながら、リハビリを進めています。

当科は「**患者さんの気持ちに寄り添って退院後の生活を見据えた質の高いリハビリテーションを提供する**」を理念として、療法士5名（理学療法士4名、作業療法士1名）で活動しています。人数は少ないですが、スタッフそれぞれが、学会・研修会参加や資格取得など日々研鑽を行い、知識・技術の習得に励んでおります。今後とも舟入市民病院リハビリテーション科をよろしくお願いいたします。



リハビリ室からの眺め

栄養室より 当院の食物アレルギーに対する食事管理について

問題：アレルギーに「乳」を含まないものが1つあります。次のうちどれが正解でしょう？

- ①キャラメル ②豆乳 ③クリームシチュー ④マーガリン ⑤杏仁豆腐

2023年3月「食品表示基準」の改正により、これまでの特定原材料7品目に「クルミ」が追加（理由：食べる量が増えた）され、現在は8品目となっています。アレルギー表示は、特定原材料8品目と特定原材料に準ずる品目20品目からなる28品目で構成されています。

特定原材料とは「アレルギー患者数が多く、特に気をつけなければならない食品で、表示義務がある食材」です。特定原材料に準ずる品目とは「アレルギー患者数、重症度が特定原材料より少ないため、表示が推奨されている食材」です。

栄養室では、病院食で使用している食品に含まれるアレルギー食材を確認し、リスト化しています。そして、食物アレルギー患者さんが食べられる食品、食べられない食品を本人・ご家族へ直接確認し、不必要な食物制限・必要栄養量不足とならないように対応しています。

参考にアレルギー食材を掲載します。

特定原材料 (8品目)	特定原材料に準ずる品目 (20品目)		
卵	アーモンド	ごま	もち
乳製品	あわび	鮭	やまいも
小麦	いか	さば	りんご
そば	いくら	大豆	ゼラチン
えび	オレンジ	鶏肉	
かに	カシューナッツ	バナナ	
落花生 ¹⁾	キウイフルーツ	豚肉	
クルミ ²⁾	牛肉	まつたけ	

1)ピーナッツと同義

2)2025年3月31日までは表示移行期間

2025年4月1日から表示義務

答え：②



解説：「乳」は牛乳・母乳に含まれるアレルギー（カゼイン）が対象です。①③④⑤の原材料に牛乳を含むので誤りとなります。ただし、豆乳は「大豆」からできるので「大豆アレルギー」の方は注意が必要となります（アレルギー：グリシニン、コングリシニン）。

医療支援室より



オープンカンファレンスを開催しました！

2023年10月19日、当院にて地域連携オープンカンファレンスを開催いたしました。
お陰をもちまして当日は、地域医療機関の医師・看護師等、多数の方に御来席いただきました。

【講演内容】

舟入市民病院 褥瘡対策チームの活動について
皮膚・排泄ケア認定看護師 田中 博之
当院におけるKM-CARTの経験について
外科主任部長 金廣 哲也

来年度も予定しておりますので、是非ご参加いただければ幸いです。今後も地域の医療機関の皆さまとともに、より良い地域医療の提供に取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご支援ご指導のほどよろしくお願いいたします。



中区在宅医療相談支援窓口運営事業(中区医師会)について

当院では、2018年9月1日より医療看護介護に関わる従事者からの在宅療養患者の入院調整や、在宅医療に関する相談を支援する窓口を設置しております。本事業は、在宅医療の推進を図ることを目的としております。

ご相談は「相談申込書」をご記入後FAXで送信の上、電話にてご相談ください。担当看護師および医療ソーシャルワーカーが相談に応じます。FAX用紙は広島市中区医師会のホームページに掲載されておりますので、ダウンロードし印刷してお使いください。

当院のスローガン **“困った時の助け舟” 舟入市民病院** になれるよう日々努めてまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

広島市中区
在宅医療相談支援窓口
相談申込書

受付日

月曜日～金曜日
AM9:00～PM5:00

直通TEL番号およびFAX番号

TEL 082-232-6178
FAX 082-232-6193

お困りごと等

お気軽にご相談下さい！

新スタッフをご紹介します♪

退院支援担当



4月より医療支援室に配属になりました、看護師の**山本 彩**です。

支援室の業務内容は病棟や外来とは違い、今までとは違った側面からの患者支援です。初めてのことでばかりで緊張しながらも、新たな気づきや学びがあり刺激的な毎日を送っています。看護師長をはじめ支援室の皆さんには、いつも優しく支えられながら業務に励んでいます。

今は退院支援業務を担当しています。患者さんやご家族の思いを受け止めて、退院後も在宅や療養先で安心して過ごせるよう地域との連携の重要性を感じています。患者さん・ご家族・地域の皆さんのお役に立てるよう努力していきたいと思っておりますので、ご指導よろしくお願いいたします。

患者相談窓口等担当



4月より医療支援室に4年ぶりに配属になり、1階フロアの医療連携室で勤務しています看護師の**宮原 久美江**です。

1階の連携室では、

- ①紹介医からのFAXや電話での診察依頼に対応して外来診察や外来予約調整
- ②患者相談窓口として1回/週の病棟ラウンド
- ③各科医師へ紹介医への返書依頼等

各医療機関とのコーディネーター的役割として業務に関わっています。

又、「皮膚排泄ケア認定看護師」として、1回/週の院内褥瘡回診にも参加し、褥瘡ケアやストーマケア等皮膚トラブルの相談も受けていますので、何かありましたらご相談ください。

外来担当医表

2023年10月現在

受付時間		診療科		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~11:00	内科	1診	山 本	高 山	新谷(貴)	美 濃	新谷(貴)	休診	
			2診	北 原	実 綿	鳴 戸	実 綿	高 山		
			3診(初診)	牛 尾	高 蓋	実 綿	高 山	実 綿		
			4診	循環器専門外来 岡 本	-	-	-	糖尿病専門外来 新谷(眞)		
			5診	-	-	-	-	都 甲		
		外科	1診	小 林	長 谷	金 廣	-	亀 田		
			2診	金 廣	-	亀 田	長 谷	小 林		
		小児科	1診	岡 野	藤 井	玉 浦	三 木	小 野		24時間 急患 診療
			2診	佐々木(夏)	稲 村	佐久間	佐 藤	板 村		
			3診	高 本	-	-	黒崎(光)	-		
	(月)(水)(金) 8:30~11:00	ペイン クリニック	麻酔科	佐々木(宏) 白 石	-	佐々木(宏) 神 崎	-	佐々木(宏) 神 崎	休診	
	9:00~12:00 (完全予約制)	小児 心療科	外来 予約	黒崎(充)	黒崎(充)	黒崎(充)	黒崎(充)	黒崎(充)		
古 原				古 原	古 原	古 原	古 原			
池 尻				池 尻	池 尻	池 尻	池 尻			
午後	12:30~15:00	内科	1診	-	牛 尾	北 原	山 本	-	休診	
			2診	-	糖尿病専門外来 新谷(眞)	-	-	都 甲		
			3診(初診)	高 山	北 原	鳴 戸	北 原	牛 尾		
			特殊	-	禁煙外来	-	-	-		
	13:00~15:00 (要電話連絡)	小児外科	1診	-	佐 伯	-	市 川 (第2・4木曜日)	-	24時間 急患 診療	
	(月)(水)(木) 12:30~15:00		小児科	1診	三 木	小 野	佐 藤	藤 井		岡 野
				2診	玉 浦	黒崎(光)	板 村	佐久間		佐々木(夏)
				3診	-	-	稲 村	-		高 本
	(火)(金) 12:30~16:00	小児科	健診等	-	乳児健診	予防接種	-	-		
	13:00~17:00 (完全予約制)		小児 心療科	外来 予約	黒崎(充)	黒崎(充)	黒崎(充)	黒崎(充)	黒崎(充)	休診
					古 原	古 原	古 原	古 原	古 原	
		池 尻			池 尻	池 尻	池 尻	池 尻		
水曜 12:30~16:00	小児 皮膚科		-	-	蓮沼/宗盛	-	-			

舟入市民病院基本理念

良心と信念に従って信頼される医療を提供します。

舟入市民病院行動目標

1. 病院内のすべての安全を第一に考えます。
2. 患者さん一人ひとりの尊厳と権利を守ります。
3. 積極的に十分な情報を提供し、開かれた病院をめざします。
4. 病院運営に主体的に参画し、経営健全化に努めます。
5. 私たちにとって働きがいのある病院をめざします。

診療科よりご案内

内 科	※内科医師は、内科専門分野と一般内科の診療を行っております。 ※当院内科は、予約患者さんが優先となっております。 午前中は混雑が予想されますので、予約されていない方は受付 時間が12:30~15:00の受診をお勧めします。 ※胃カメラ、大腸検査、CT、MRI、エコー等の検査は診察後の 予約制となっております。
外 科	※外科の診療は、午前中のみ行っております。
小児外科	※小児外科の診療は、火曜日の午後および第2・第4木曜日の午後 のみ行っております。
小児科	※当院小児科は、予約患者さんが優先となっております。 ※乳児一般健診は予約なしで受けることができます。 母子手帳を必ずご持参ください。 ※予防接種は予約が必要です。電話または1F 総合受付にて接種 希望日の週の月曜日までにお申し出ください。 (月曜日が祝日の場合は、前の週の平日にご予約となります。) 当日は、母子手帳及び予防接種券等を必ずご持参ください。
ペイン クリニック	※対象となる疾患は帯状疱疹・顔面麻痺・腰痛症(ぎっくり腰)・ 五十肩・神経痛・頭痛などです。痛みに悩んでおられる方は我慢 せずに一度相談にお越しください。
小 児 心療科	※小・中学生を対象として、不登校・神経症・PTSD(心的外傷 ストレス 障害)などに対する外来診療を行っています。 診療は予約で行いますので、まず電話でご相談ください。 TEL:082-232-6195
小児皮膚科	※難治性的小児アトピー疾患を中心とした外来です。

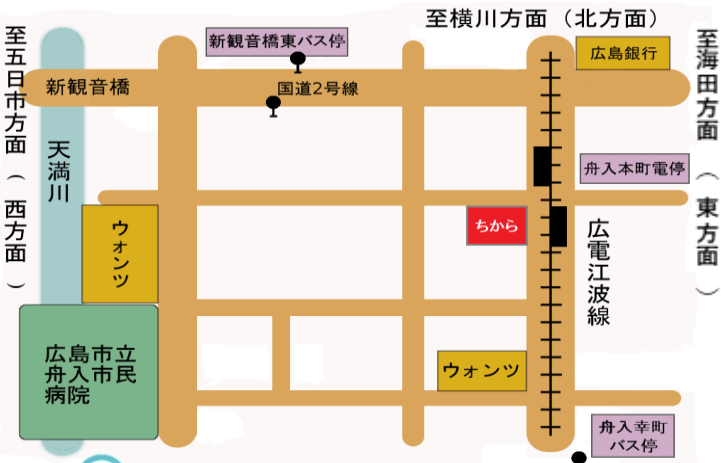
	主な専門分野	担当医		主な専門分野	担当医
内 科	呼吸器	北原・高山 実綿・牛尾	小 児 科	神経・けいれん	藤井・板村
	消化器	山本・鳴戸		喘息・アレルギー	岡野
	循環器	岡本		小児消化器	佐藤
	糖尿病	新谷(眞)		血液疾患	三木
	血液	高蓋・新谷(貴)・美濃		一般小児	小野・玉浦 稲村・佐々木(夏) 佐久間・黒崎(光)
	神経	都甲			

	主な専門分野	担当医
外 科	一般外科 消化器外科	金廣・小林 長谷・亀田
	小児外科 新生児外科	佐伯 市川(第2・4木曜日)

※最新の情報は当院ホームページにてご確認ください。

当 院 へ の ア ク セ ス

広島バスセンター(紙屋町)方面より ※本通りバス停 乗車	
広電バス	江波方面ゆき 舟入幸町バス停 下車(かきうち通り経由を除く)
広電バス	西部エリア各団地(東観音台など)方面ゆき 新観音橋東バス停 下車
広島駅より	
広島電鉄	江波ゆき 舟入本町電停 下車
広電バス	八丁堀経由 観音マリーナホップゆき または 観音三菱・広島ヘリポートゆき 新観音橋東バス停 下車
横川駅より	
広島電鉄	江波ゆき 舟入本町電停 下車
西広島駅より	
広島電鉄	広島駅ゆき 土橋電停で江波ゆきに乗換え 舟入本町電停 下車
広島港より	
広島電鉄	西広島駅ゆき 土橋電停で江波ゆきに乗換え 舟入本町電停 下車



地方独立行政法人 広島市立病院機構

広島市立舟入市民病院

〒730-0844 広島市中区舟入幸町 14 番 11 号

TEL:082-232-6195 (代表) FAX:082-232-6156

編集・発行 医療支援室

TEL:082-232-6123

FAX:082-232-6125

駐車場 100 台収容可能

※ お車でアクセス方法はホームページにてご確認ください。